取扱説明書



カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず使用上の注意、本取扱説 明書およびセットアップガイドをよくお読 みになり、正しくお使いください。

最新の取扱説明書は、当社の ホームページからダウンロード できます。 http://www.eizo.co.jp

もくじ

第1章 特長と概要	
-----------	--

- 1 1
 特長

 1 2
 各部の名称と機能

 1 3
 表示解像度
 - 1-4 機能一覧と調整メニュー基本操作方法

第2章 設定と調整をする

2-1 ユーティリティディスクについて 2-2 画面の調整をする 2-3 カラー調整をする 2-4 音量を調整する 2-5 省電力モード時の音声出力のオン / オフ を切り替える 2-6 モニターの自動明るさ調整のオン/オフ を切り替える 2-7 モニターの省電力モードのオン/オフ を切り替える 2-8 モニターの電源を自動的にオフにする 2-9 EcoView Index でモニターの省電力の 度合いを表示する 2-10 表示サイズを切り替える 2-11 調整メニューの表示を設定する 2-12 設置方向を設定する 2-13 操作ボタンをロックする 2-14 モニター情報を表示する 2-15 DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える 2-16 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える 2-17 表示言語を設定する 2-18 EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える 2-19 お買い上げ時の設定に戻す

第3章 接続する

 3-1
 2 台のコンピュータを接続する

 3-2
 DVI 信号の入力レベルを調整する

第4章 こんなときは

第5章 ご参考に

- _ 5 1 アーム取付方法
- <u>5-2 EZ-UP スタンド収納方法</u>
 - 5-3 仕様
- 5-4 用語集
- 5-5 プリセットタイミング

第6章 アフターサービス

セットアップについて

コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明に ついてはセットアップガイドをお読みください。



【警告表示位置】

ハイトアジャスタブルスタンド例



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。 この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に 近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてくだ さい。

また、製品の付属品(ケーブル含む)や当社が指定するオプション品を使用しない場合、基準に適合でき ない恐れがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満 足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調電波電流を抑制する日本工業規格 JISC 61000-3-2 に適合しております。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

本製品は、オフィス機器の安全性、エルゴノミクス、環境等に関する TCO 規格を取得しています。 規格の概要は当社のホームページからご覧いただくことができます。

http://www.eizo.co.jp

Copyright © 2010-2013 株式会社ナナオ All rights reserved.

- 1.本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の 許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありま したら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も 負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Apple、Macintosh は Apple Inc. の登録商標です。

VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。

- Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards Association の商標です。

EIZO、EIZO ロゴ、FlexScan、ScreenManager は株式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。

i・Sound は株式会社ナナオの商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

モニターについて

本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。 This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いた します。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、30 分程度かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお すすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。 長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。 (次ページ「クリーニングのしかた」参照)

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合が ありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しな くなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起 こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきま すと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押したあとが残った場合、 画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの(ペン先、ピンセット)などで押したり、こすったりしないように してください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますの でご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が 生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちく ださい。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

1

注意点

溶剤や薬品(シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど)は、キャビネット
 や液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

・液晶パネル面のクリーニングには ScreenCleaner (オプション品) をご利用いただくことをおすすめします。

液晶パネル面

- ・汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- ・落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- ・ 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画 面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

もくじ

モニタ	ーについて1	
もくじ		
第1章	特長と概要4	
1 - 1	特長4	
1 - 2	各部の名称と機能5	
1 - 3	表示解像度6	
1 - 4	機能一覧と調整メニュー基本操作方法7	
第2章	設定と調整をする10	
2 - 1	ユーティリティディスクについて10 ディスクの内容と概要10	
2 - 2	画面の調整をする11	
デジ アナ	タル信号入力の場合11 ログ信号入力の場合11	
2 - 3	カラー調整をする14	
● 寻 (● 言 ● 名 ● こ	§示モード(FineContrast ファインコントラスト)モード)を選ぶ 14 詳細な調整をする 15 Sモードの調整項目 15 ブライトネス(明るさ)を調整する	
[● : ● : ● : ● : ● : ● : :	ブライトネス]15 コントラストを調整する [コントラスト]15 9温度を調整する [色温度]16 ヴンマを調整する [ガンマ]16 色の濃さを調整する [色の濃さ]16 色合いを調整する [色合い]17 デインを調整する [ゲイン]17	第
2 - 4	音量を調整する[音量]17	444
2 - 5	省電力モード時の音声出力のオン / オフを 切り替える [パワーセーブ]17	
2 - 6	モニターの自動明るさ調整のオン / オフを 切り替える[Auto EcoView]18	新
2 - 7	モニターの省電力モードのオン / オフを 切り替える[パワーセーブ]18	
2 - 8	モニターの電源を自動的にオフにする [オフタイマー]19	
2 - 9	EcoView Index でモニターの省電力の 度合いを表示する19	第

2‐10 表示サイズを切り替える20
●表示サイズを切り替える [拡大モード] 20
●画像の非表示部分の明るさを変える
[ボーダー]20
2-11 調整メニューの表示を設定する21
●調整メニューの表示を変更する
[メニューサイズ / メニューポジション /
メニューオフタイマー / 半透明]
2 - 12 設置方向を設定する22
●調整メニューの向きを設定する [設置方向] 22
2 - 13 操作ボタンをロックする22
2‐14 モニター情報を表示する
[インフォメーション]22
2 - 15 DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える23
2‐16 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える
[電源ランプ]23
2-17 表示言語を設定する [言語]
2 - 18 EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える23
2-19 お買い上げ時の設定に戻す [リセット]24
●カラー調整値をリセットする
●すべての設定内容をリセットする
[3章 接続する25
2 1 2 4 の コンピューク た 性 結 オ ス 25
う ノロのコノヒューダで按枕りる
 3 - 1 2 - GO コノビューダを接続する
 3 - 1 2
 ○入力信号を切り替える
 3 - 1 2 - GO コノビューダを接続する
 3 - 1 2 日のコンピューダを接続する
 3 - 1 2 - 1 2 - 1 3 2 - 3 2 2 5 ○ 入力信号を切り替える
 3 - 1 2 - 1 2 - 1 3 2 - 3 2 2 5 ● 入力信号を切り替える
 3 - 1 2 - 1 2 - 1 3 2 2 2 2 3 2 2 3 2 2 5 ● 入力信号を切り替える
 3 - 1 2 - 1 2 - 1 3 2 - 3 2 2 5 2 5 - 1 アーム取付方法
 S = 1 2 日のコンピューダを接続する
 S = 1 2 日のコンピューダを接続する
 S = 1 2 日のコノビューダを接続する
 3 - 1 2 - 1 2 - 3 2 - 3 2 2 5 2 5 2 5 - 1 2 - 3 2 2 5 2 5 - 2 5 - 2 5 - 2 5 - 2 5 - 2 5 - 3 - 2 5 - 3 - 2 5 - 3 - 2 5 - 3 - 2 5 - 3 - 2 5 - 1 7 - 4 取付方法
 3 - 1 2 - 1 2 - 1 3 2 - 3 2 2 5 2 2 5 2 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5

第1章 特長と概要

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1 特長

- ・24型ワイド画面 WUXGA (1920×1200)対応
- スピーカー、ヘッドホンジャック装備
 1-2 各部の名称と機能(P5)参照
- 省電力機能

消費電力[※]を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。 本機は省電力のためのさまざまな機能を搭載しています。

- 主電源オフ時消費電力 0W 主電源スイッチを装備。 モニターを使用しない時は、主電源スイッチをオフにすることで、確実に電源供給が停止します。
- LED バックライト液晶パネル搭載 (EV2411W のみ) 従来の蛍光管バックライト液晶パネルと比較して電力効率が高く、消費電力**が抑えられます。 また、有害物質である水銀を含有していません。
- Auto EcoView 機能
 モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
 不必要に高い輝度は、環境にも目にも負荷を与えます。輝度を抑えることにより、消費電力の削減と、目への負担を軽減します。
 2-6 モニターの自動明るさ調整のオン / オフを切り替える [Auto EcoView] (P18) 参照
- EcoView Index 機能搭載
 モニターの輝度に応じた省電力の度合いを、緑のインジケータで示します。
 省電力の度合いを意識することで、消費電力の削減につながります。
 2-9 EcoView Index でモニターの省電力の度合いを表示する(P19)参照
- FineContrast(ファインコントラスト)機能搭載
 2-3 表示モード(FineContrast(ファインコントラスト)モード)を選ぶ(P14)参照
- ・DVI ロングケーブル対応

3-2 DVI 信号の入力レベルを調整する [DVI 入力調整] (P26) 参照

- ・縦型表示対応
- ・マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」添付 2-1 ユーティリティディスクについて (P10) 参照
- ・著作権保護技術 HDCP 対応

※参考値

- ・EV2411W 最大消費電力 43W(輝度最大、製品初期値)
 - 標準消費電力 19W(輝度 120cd/m²、製品初期值)
- ・S2402W
 最大消費電力 54W(輝度最大、製品初期値)
 標準消費電力 27W(輝度 120cd/m²、製品初期値)
- ・従来機種(S2401W)
 最大消費電力100W(輝度最大、製品初期値)
 標準消費電力34W(輝度120cd/m²、製品初期値)

参考

- 本機はモニターの縦型表示に対応しています。縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます(「調整メニューの向きを設定する[設置方向]」P22参照)。
- モニターを縦型表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードによっては設定を変更する必要があります。詳細は、 グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
- 本機はスタンド部分を取り外してアーム(別のスタンド)を取り付けることができます(「5-1アーム取付方法」 P29参照)。

1-2 各部の名称と機能

ハイトアジャスタブルスタンド例



1	センサー	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView(オートエコビュー)機能(P18)
2	Auto EcoView ボタン	Auto EcoView (オートエコビュー) 機能のオン / オフを切り替えます。 (P18)
3	EcoView Index ボタン	EcoView Index (エコビューインデックス) を表示します。(P19)
4	入力切替ボタン	2 台のコンピュータを接続している場合に、表示する入力信号を切り替えます。(P25)
5	モードボタン	FineContrast (ファインコントラスト) モードを切り替えます。 (P14)
6	エンターボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
		(P9)
7	コントロールボタン	・調整メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を
	(左、下、上、石)	
		・ (●)または(●)ホタン:音量調整画面を表示します。 (P/)
		・ (▼)または(▲)ボタン:ブライトネス(明るさ)調整画面を表示します。(P7)
8	電源ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。
9	電源ランプ	モニターの動作状態を表します。
		青:画面表示 橙:省電力モード 消灯:主電源スイッチ / 電源ボタンオフ
10	主電源スイッチ	主電源のオン / オフを切り替えます。
11	盗難防止用ロック	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
12	電源コネクタ	電源コードを接続します。
13	信号入力コネクタ	左:DVI-D コネクタ / 右:D-Sub15 ピン(ミニ)コネクタ
14	ステレオミニジャック	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
15	スタンド	高さと角度が調整できます。
16	ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。
17	スピーカー	音声を再生します。
18	ヘッドホンジャック	ヘッドホンを接続します。
19	オプションスピーカー	オプションスピーカー(i・Sound L3)を取り付けることができます(スタンドの形
	(i・Sound L3 取付穴)	状によっては取り付けられません)。

※ ScreenManager[®]は当社調整メニューのニックネームです。使用方法は、CD-ROM 内の取扱説明書を参照 してください。

1-3 表示解像度

本機は以下の解像度に対応しています。

アナログ信号入力時

解像度	垂直周波数	表示モード	ドットクロック
640 × 480	~75 Hz	VGA, VESA	
720 × 400	70 Hz	VGA TEXT	
800 × 600	~75 Hz	VESA	
1024 × 768	~75 Hz	VESA	
1152 × 864	75 Hz	VESA	202 5 M山- (昌十)
1280 × 960	60 Hz	VESA	202.3 10日2(取入)
1280 × 1024	~75 Hz	VESA	
1600 × 1200	~75 Hz	VESA	
* 1 1680 × 1050	60 Hz	VESA CVT, VESA CVT RB	
* 1 * 2 1920 × 1200	60 Hz	VESA CVT, VESA CVT RB	

デジタル信号入力時

解像度	垂直周波数	表示モード	ドットクロック
640 × 480	60 Hz	VGA	
720 × 400	70 Hz	VGA TEXT	
800 × 600	60 Hz	VESA	
1024 × 768	60 Hz	VESA	
1280 × 960	60 Hz	VESA	162 MHz(最大)
1280 × 1024	60 Hz	VESA	
1600 × 1200	60 Hz	VESA	
* 1 1680 × 1050	60 Hz	VESA CVT, VESA CVT RB	
* 1 * 2 1920 × 1200	60 Hz	VESA CVT RB	

^{※1}ワイドの信号を表示する場合は、VESA CVT 規格に準拠したグラフィックスボードが必要です。 ^{※2}推奨解像度です。(この解像度に設定してお使いください。)

画面・カラーを調整したいときは

(●) メインメニュー(操作方法は P9 参照)





便利な設定や調整をしたいときは

(●) メインメニュー(操作方法は P9 参照)





節電設定をする

調整メニューの基本操作方法

[調整メニューの表示と機能の選択]

- (1) 操作ボタンの (•) を押します。メインメニューが表示されます。
- (2) 操作ボタンの ▲ / (▼ / (▲ / (▶) で機能を選択し、(●) を押します。サブメニューが表示されます。
- (3) 操作ボタンの (▲) / (▼) / (▲) / (▶) で機能を選択し、(●) を押します。調整 / 設定メニューが表示されます。
- (4) 操作ボタンの ▲ / ▼ / / で調整し、 を押します。設定が確定します。

[調整メニューの終了]

- (1) サブメニューで<リターン>を選択し、 ●を押します。メインメニューが表示されます。
- (2) メインメニューで<メニューオフ>を選択し、 ●を押します。調整メニューが終了します。

参考

- ・
 (
 ・
)をすばやく続けて2回押しても調整メニューを終了させることができます。
- ・メインメニュー / サブメニューで(▼)を2回押しても<メニューオフ> / <リターン>を選択することができます。

第2章 設定と調整をする

2-1 ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」(CD-ROM)が付属しています。ディスクの内容やアプリケー ションソフトウェアの概要は、下記を参照してください。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、カラープロファイル、調整用のアプリケーションソフトウェア、取扱説明書が含まれていま す。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt または「お読みください」を参照してくだ さい。

内容	概要	対応 OS
Readmeja.txt または「お読みください」	ファイル	
カラープロファイル(ICC プロファイル)	モニターのカラー特性情報が入ったファ イルです。カラーマネージメントをおこ なう場合に使用します。	Windows 2000/XP/Vista Mac OS 9.2.2/X10.2 以降
画面調整ユーティリティ	アナログ信号入力の画面を手動で調整す る際に使用するパターン表示ソフトウェ アです。	Windows 2000/XP/Vista
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整す る際に役立つパターン集です。画面調整 ユーティリティが、ご使用のコンピュー タに対応していない場合、このパターン 集を使って調整することができます。	
ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)	マウスやキーボードを使って画面を調整 するソフトウェアです。	Windows Vista
EIZO ScreenSlicer	画面を分割して、複数のウィンドウを効 率よく配置するソフトウェアです。	Windows XP/Vista
モニターの取扱説明書(PDF ファイル)		

2-2 画面の調整をする

デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく 表示されます。詳細な調整をおこなう場合は「2-3 カラー調整をす る(P14)」以降を参照してください。

アナログ信号入力の場合

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちら つきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのもので す。

以下の場合にはセルフアジャスト機能(自動画面調整機能)が働き ます。

- モニターに初めて信号を入力した場合
- これまでに表示したことのない解像度や垂直周波数、水平周波数
 に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快 適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をし てください。

[調整手順]

1 自動調整をします。

- 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する [ピクチャー調整]
- (1) <自動調整>メニューで<ピクチャー調整>を選択し、 を押します。
 - <自動調整>メニューが表示されます。
- (2) ▲ または ▼ で<実行>を選択し、● を押します。
 自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

- (1)「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセット します。
- (2) ご使用の OS が Windows の場合: ディスクの起動メニューから 「画面調整ユーティリティ」を起動します。起動できない場合は、 画面調整パターン集を開きます。 ご使用の OS が Windows 以外の場合: 画面調整パターン集を開

きます。

1の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順5の「色階調を自動調整する [レンジ調整]」にお進みください。

注意点

- ・調整はモニターの電源を入れて、 30分以上経過してからおこなっ てください。
- ・解像度800×600(SVGA)未満の信号ではセルフアジャスト機能(自動画面調整機能)は働きません。

注意点

- この機能は画面の表示可能エリア 全体に画像が表示されている場合 に正しく動作します。コマンドプ ロンプトのような画面の一部に しか画像が表示されていない場 合や、壁紙など背景を黒で使用し ている場合には正しく動作しませ ん。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
- ・自動調整中は、「実行中」と表示 されます。

参考

 ・画面調整パターン集の開きかたお よび内容については、Readmeja. txt または「お読みください」ファ イルを参照してください。



12 第2章 設定と調整をする

● 表示位置のずれを直す [ポジション]

- (1) <ピクチャー調整>メニューで<ポジション>を選択し、
 を押します。
 <ポジション>メニューが表示されます。
- (2) 画像の位置が合うように ▲/ (▼) / ●/で調整し、● を
- 押します。 調整が完了します。



5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する [レンジ調整]

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調(0~255)を表示できるように調整できます。

(1)「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使 用して、パターン2を全画面に表示します。



- (2) <自動調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、を押します。
- (3) ▲ または ▼ で "実行"を選択し、● を押します。
 出力レンジが自動的に調整されます。
- (4) パターン2を閉じます。「画面調整ユーティリティ」を起動 している場合は終了します。

6 文字や線のぼやけを直します。

● 文字や線のぼやけを直す [スムージング]

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文 字や線がぼやけて見える場合があります。 調整範囲:1~5

- (1) 調整メニューの<ピクチャー調整>メニューを選択し、●を押します。
- (2) <ピクチャー調整>メニューで<スムージング>を選択し、
 を押します。

<スムージング>メニューが表示されます。

(3) ● または ● で調整し、● を押します。
 設定が完了します。

参考

- 液晶モニターは画素数および画素 位置が固定であるため、画像の正 しい表示位置は1箇所です。ポジ ション調整とは画像を正しい位置 に移動するための調整です。
- ・調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す[クロック]」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)

注意点

 表示解像度によってはスムージン グの設定をする必要はありません (スムージングアイコンを選択す ることはできません)。

2-3 カラー調整をする

表示モード(FineContrast(ファインコントラスト)モード) を選ぶ

FineContrast (ファインコントラスト)機能を使って、モニターの用途 に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

FineContrast (ファインコントラスト) モードの種類

モード	目的		
Custom	全ての設定値を変更することができます。		
sRGB	RGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。		
Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。		
Picture	写真やイラストなどの画像表示に適しています。		
Movie	動画の再生に適しています。		



(1) M を押します。

FineContrast(ファインコントラスト)モード名が画面左下に表示されます。

(2) M を押すたびに5つのモードが順に切り替わり表示されます。

 \rightarrow Custom \rightarrow sRGB \rightarrow Text \rightarrow Picture \rightarrow Movie \neg

参考

- 調整メニューとFineContrast (ファインコントラスト)モード名 を同時に表示させることはできま せん。
- ScreenManager Pro for LCDを使う と、使用するアプリケーションに あわせて、FineContrast(ファイ ンコントラスト)モードが自動で 切り替わります。(ScreenManager Pro for LCDの取扱説明書「第3 章 オートファインコントラスト」 参照)

● 詳細な調整をする

FineContrast (ファインコントラスト) のモードごとに独立したカラー 調整の設定、保存ができます。

● 各モードの調整項目

FineContrast (ファインコントラスト) モードの種類により、調整できる機能が異なります。

○:調整可 一:調整不可

アイコン	操作力	FineCo	ntrast (フ:	ァインコン	/トラスト)	モード
		Custom	sRGB	Text	Picture	Movie
ġ.	ブライトネス	0	0	0	0	\bigcirc
•	コントラスト	0		\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
₿ĸ	色温度	0	—	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
ē	ガンマ	0	—	\bigcirc	—	
	色の濃さ	0	—	0	0	0
(@)	色合い	0		0	0	0
s de la constante de la consta	ゲイン	0				
Ð	リセット	0	0	0	0	0

● ブライトネス(明るさ)を調整する [ブライトネス]

バックライト(液晶パネル背面の光源)の明るさを変化させて、画面の 明るさを調整します。

調整範囲:0~100%

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、 (●を押します。
- (2) <カラー>メニューで<ブライトネス>を選択し、 ●を押します。 <ブライトネス>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、●を押します。
 調整が完了します。

● コントラストを調整する [コントラスト]

- ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。 調整範囲:0~100%
- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、●を押します。
- (2) <カラー>メニューで<コントラスト>を選択し、 ④ を押します。 <コントラスト>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。
 調整が完了します。

注意点

- ・調整はモニターの電源を入れて、 30分以上経過してからおこなっ てください。
- アナログ信号のカラー調整をおこ なうときは、最初にレンジ調整を おこなってください。(「色階調を 自動調整する」P13 参照)
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ScreenManager Pro for LCD を使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます。(ScreenManager Pro for LCD の取扱説明書「第4章カラー調整)」参照)

参考

 ・調整メニューが表示されていない 状態で、(▼) または (▲) で調整す ることもできます。

- 参考 ・50% で全ての色階調を表示しま す。
- ・画面の明るさは、はじめに、階調
 特性を損なうことのないブライト
 ネスで調整することをおすすめし
 ます。

コントラスト調整は以下のような 場合に使用してください。

- ブライトネスが 0% でも画面が 明るいと感じた時
- 画面の黒レベルが明るいと感じ た時(ブライトネスを下げてコ ントラストを 50%以上に設定し ます)

● 色温度を調整する [色温度]

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられる もので、K:Kelvin (ケルビン)という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っ ぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値 が設定されています。

5000K	やや赤みがかかった色です。印刷業界では一般的に
	5000K や 6500K が使われています。
6500K	暖色で紙色に近い色調で、写真やビデオ画像の表示に適
	した色調とされています。
9300K	やや青みがかかった白色です。

調整範囲:オフ、4000K ~ 10000K(500K 単位、9300K 含む)

(1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、④を押します。

- (2) <カラー>メニューで<色温度>を選択し、(●)を押します。 <色温度>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。 調整が完了します。

● ガンマを調整する [ガンマ]

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変 化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そ のため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなう ことをガンマ補正といいます。

調整範囲:1.8、2.0、2.2

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、(●)を押します。
- (2) <カラー>メニューで<ガンマ>を選択し、 ●を押します。 <ガンマ>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。
 調整が完了します。

● 色の濃さを調整する [色の濃さ]

色の濃さを調整します。

調整範囲:-128~127

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、④を押します。
- (2) <カラー>メニューで<色の濃さ>を選択し、●を押します。
 <色の濃さ>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。
 調整が完了します。

参考

- ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モード の調整項目」P15 参照)。
- ・[ゲイン] でさらに詳細な調整が 可能です(「ゲインを調整する[ゲ イン]」P17参照)。
- ・「オフ」でパネル本来の色(ゲイ ンの値は RGB 各 100%)になりま す。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度 は「オフ」になります。

参考

 ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モードの調整項目」P15 参照)。

注意点

 本機能を使用することによって、 すべての色階調を表示できないこ とがあります。

参考

- 選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モードの調整項目」P15 参照)。
- ・-128 で白黒の画面になります。

● 色合いを調整する [色合い]

色合いを調整します。値を高くすると緑がかった色になり、値を低くす ると紫がかった色になります。

調整範囲:-32~32

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、 () を押します。
- (2) <カラー>メニューで<色合い>を選択し、●を押します。<色合い>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。
 調整が完了します。

● ゲインを調整する [ゲイン]

色を構成する赤・緑・青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これ を調整することで、「白」(各色の入力信号が最大のとき)の色調を変更 することができます。

調整範囲:0~100%

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、 (•) を押します。
- (2) <カラー>メニューで<ゲイン>を選択し、(●)を押します。 <ゲイン>調整画面が表示されます。
- (3) 赤、緑、青それぞれの値を (④ または (▶) で調整し、(●) を押します。 調整が完了します。

2-4 音量を調整する [音量]

- スピーカーやヘッドホンの音量を調整することができます。 調整範囲:0~20
- (1) 調整メニューの<サウンド>メニューを選択し、 (•) を押します。
- (2) <サウンド>メニューで<音量>を選択し、●を押します。音量調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。
 調整が完了します。

2-5 省電力モード時の音声出力のオン / オ フを切り替える [パワーセーブ]

モニターの省電力モード時に、スピーカーまたはヘッドホンから音声を 出力する / しないの切り替えができます。

- (1) 調整メニューの<サウンド>メニューを選択し、●を押します。
- (2) <サウンド>メニューで<パワーセーブ>を選択し、を押します。
 - <パワーセーブ>設定画面が表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「オン」または「オフ」を選択し、● を押します。
 設定が完了します。

注意点

- 本機能を使用することによって、 すべての色階調を表示できないこ とがあります。
- 参考
- ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モード の調整項目」P15 参照)。

注意点

 本機能を使用することによって、 すべての色階調を表示できないこ とがあります。

参考

- ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モードの調整項目」P15参照)。
- ・色温度の値に応じてゲインの値が 変わります。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度 は「オフ」になります。

参考

 ・調整メニューが表示されていない 状態で、● または ● で調整す ることもできます。

2 - 6 モニターの自動明るさ調整のオン / オ フを切り替える [Auto EcoView]

Auto EcoView (オートエコビュー) を有効にするとモニター正面のセン サーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを 調整します。

- (1) 🛞 を押します。
 - < Auto EcoView >設定画面が表示されます。
- (2) 🛞 を押すごとに、オン / オフが切り替わります。

2-7 モニターの省電力モードのオン / オフ を切り替える [パワーセーブ]

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り替えができます。

- (1) 調整メニューの< PowerManager >メニューを選択し、● を押し ます。
- (2) < PowerManager >メニューで<パワーセーブ>を選択し、使 た

<パワーセーブ>設定画面が表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「オン」または「オフ」を選択し、● を押します。 設定が完了します。

■アナログ信号入力の場合

「VESA DPMS」に準拠しています。

[節電の流れ]

コンピ	ュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	橙

■ デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し5秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	丰 月
節電モード	節電モード	橙

参考

Auto EcoView 機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

注意点

- ・主電源スイッチをオフにするか、
 電源プラグを抜くことで、確実に
 モニター本体への電源供給は停止します。
- ・音声が入力されている場合も消費 電力は変化します。

2-8 モニターの電源を自動的にオフにする [オフタイマー]

モニターの省電力モードが一定時間続いた時に、モニターの電源を自動 的にオフにする / しないの切り替えができます。

設定範囲:無効、有効(0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1~5h)

- (1) 調整メニューの< PowerManager >メニューを選択し、● を押し ます。
- (2) < PowerManager >メニューで<オフタイマー>を選択し、● を 押します。
 <オフタイマー>設定画面が表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「有効」または「無効」を選択します。
 「有効」を選択した場合は、 ◆ または ▶ でモニターの電源をオフ にする時間を選択します。
- (4) を押します。設定が完了します。

2-9 EcoView Index でモニターの省電力の 度合いを表示する

省電力の度合いを緑のインジケータで示します。インジケータが右方向 に点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

(1) (1)を押します。

EcoView Index が表示されます。

参考

 EcoView Index はブライトネス(明 るさ)調整や、FineContrast(ファ インコントラスト)モード切り替 え時などにも表示されます。
 PowerManager >メニューの
 EcoView Index > で EcoView Index の表示/非表示を切り替え ることができます。

2-10 表示サイズを切り替える

● 表示サイズを切り替える [拡大モード]

推奨解像度以外の解像度は、自動で画面いっぱいに拡大されますが、 <その他>の<拡大モード>機能を使用して表示サイズを切替えること ができます。

メニュー	機能
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・
(初期設定)	横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があ
	ります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・
	横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が
	表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

拡大

例: EV2411W で 1280 × 1024 を表示した場合





ノーマル

 (1920×1200)



 (1280×1024)

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 (●を押します。
- (2) <その他>メニューで<拡大モード>を選択し、(●を押します。 <拡大モード>メニューが表示されます。
- (3) (▲) または (▼) で「フルスクリーン」/「拡大」/「ノーマル」のいず れかを選択し、(●を押します。 設定が完了します。

● 画像の非表示部分の明るさを変える [ボーダー]

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー(画像が表 示されていない暗い部分)が表示されます。



- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<ボーダー>を選択し、●を押します。 <ボーダー>メニューが表示されます。
- (3) (4) または()) で調整し、()を押します。 調整が完了します。

2‐11 調整メニューの表示を設定する	
● 調整メニューの表示を変更する [メニューサイズ / メニューオ ジション / メニューオフタイマー / 半透明]	۴
ノー _ ・ エノブ	
メニューリイス 調整メニューの表示サイズを変更できます。	
 (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、●を押します。 (2) <その他>メニューで<メニュー設定>を選択し、●を押します。 (3) <メニュー設定>メニューで<メニューサイズ>を選択し、●を打します。 	甲
(4) ▲ または ▼ で「ノーマル」または「拡大」を選択し、● を押します。 設定が完了します。	,
メニューポジション 調整メニューの表示位置を移動できます。	
 (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、●を押します。 (2) <その他>メニューで<メニュー設定>を選択し、●を押します。 (3) <メニュー設定>メニューで<メニューポジション>を選択し、● を押します。 	
<メニューポジション>メニューが表示されます。 (4) ▲ / ▼ / ④ / ● で位置を移動し、 ●を押します。 設定が完了します。	
メニューオフタイマー	
調整メニューの表示時間を設定できます。 設定範囲:無効、有効(15、30、45、60s)	
(1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。	
(2) <その他>メニューで<メニュー設定>を選択し、●を押します。	
 (3) <メニュー設定>メニューで<メニューオフタイマー>を選択し ●を押します。 <メニューオフタイマー>メニューが表示されます。 	•
(4) ▲ または ▼ で「有効」または「無効」を選択します。 「有効」を選択した場合は、 ④または ● でメニューの表示時間を	141
 (5) ● を押します。 設定が完了します。 	
 (1) 調整メニューのくその他>メニューを選択し、●を押します。 (2) くその他>メニューでくメニュー設定>を選択し、●を押します。 	
 (2) くての他/パニューでくアニュー設定/を選択し、●を押します。 (3) くメニュー設定>メニューでく半透明>を選択し、●を押します。 <半透明>メニューが表示されます。 	
 (4) ● または ● で調整し、 ●を押します。 設定が完了します。 	

参考

 FineContrast (ファインコントラ スト)モード名および EcoView Index (エコビューインデックス) の表示時間は変更できません。

2-12 設置方向を設定する

調整メニューの向きを設定する[設置方向]

モニターを縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<設置方向>を選択し、(●)を押します。<設置方向>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「横置き」または「縦置き」を選択し、● を押します。
 - 設定が完了します。
- (4)「縦置き」を選択した場合は、モニタースクリーンを時計回りに 90° 回転します。

2-13 操作ボタンをロックする

調整 / 設定した状態を変更できないように、 ④ での調整 / 設定をロック します。

- (1) 🛈 を押して、モニターの電源を切ります。
- (2) **⑤** を押しながら (1) を押してモニターの電源を入れます。 操作を実行するごとにロック / ロック解除が切り替わります。

2-14 モニター情報を表示する [インフォメーション]

入力信号、解像度、機種名などを表示します。 インフォメーション 1/3 ……入力信号(アナログ / デジタル)、 解像度、水平・垂直周波数 インフォメーション 2/3 ……DDC/CI 有効 / 無効 インフォメーション 3/3 ……機種名、製造番号、使用時間

- (1) 調整メニューの<インフォメーション>メニューを選択し、●を押します。
 <インフォメーション>メニューが表示されます。
- (2) 続けて (•) を押して、設定状況などを確認します。

参考

 モニターを縦型表示にした場合、 ご使用のグラフィックスボードに よっては設定を変更する必要があ ります。詳細は、グラフィックス ボードの取扱説明書を参照してく ださい。

参考

 工場検査などのため、購入時に使 用時間が「0」ではない場合があ ります。

2 - 15 DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える

DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替えます。

- (1) 🛈 を押して、モニターの電源を切ります。
- (2) (M) を押しながら、(1)) を押してモニターの電源を入れます。 操作を実行するごとに有効 / 無効が切り替わります。

2 - 16 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える [電源ランプ]

画面表示時の電源ランプ(青)の点灯 / 消灯の切り替えができます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 (●を押します。
- (2) <その他>メニューで<電源ランプ>を選択し、●を押します。<電源ランプ>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「有効」または「無効」を選択し、●を押します。
 設定が完了します。

2-17 表示言語を設定する [言語]

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン 語 / 中国語(簡体)/ 中国語(繁体)/ 日本語

- (1) 調整メニューの<言語選択>メニューを選択し、●を押します。 <言語選択>メニューが表示されます。
- (2) ▲ / ▼ / / で言語を選択し、●を押します。
 設定が完了します。

2-18 EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。

- (1) 🕐 を押して、モニターの電源を切ります。
- (2) を押しながら (少) を押してモニターの電源を入れます。
 操作を実行するごとに表示 / 非表示が切り替わります。

参考

DDC/CIの有効/無効の状態は、
 <インフォメーション>で確認することができます。

2-19 お買い上げ時の設定に戻す[リセット]

リセットには、カラー調整のみを工場出荷状態に戻すリセットと、すべての設定内容を工場出荷状態に戻すリセットの2種類があります。

● カラー調整値をリセットする

現在選択している FineContrast (ファインコントラスト) モードのカ ラー調整値のみを初期状態(工場出荷状態)に戻します。

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <カラー>メニューで<リセット>を選択し、を押します。<リセット>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、 ●を押します。 カラー調整値が初期状態になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期状態(工場出荷状態)に戻します。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 (●を押します。
- (2) <その他>メニューで<リセット>を選択し、●を押します。 <リセット>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、 ●を押します。
 すべての設定内容が初期状態になります。

注意点

 リセット実行後は、リセット前の 状態に戻すことはできません。

参考

 主な初期値については、巻末をご 覧ください(「主な初期設定(工 場出荷設定)値」P33 参照)。

第3章 接続する

3-1 2台のコンピュータを接続する

本機は、背面の DVI-D、D-Sub15 ピン(ミニ) コネクタに 2 台のコンピュー タを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える

⑤ を押すたびに入力信号が切り替わります。
 画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



.

● 入力信号の切替方法を設定する [入力信号]

コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を 表示します。

どちらかのコンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動 的に、もう一方の信号を表示します。

優先設定	機能
オート	どちらかのコンピュータの電源が切れたり、省電力モー ドに入ると自動的に、もう一方の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作 ボタンの ⑤ で表示させたい入力信号を選択してくだ さい。

[設定方法]

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<入力信号>を選択し、●を押します。
 <入力信号>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「オート」または「マニュアル」を選択し、● を 押します。
 設定が完了します。

3 - 2 DVI 信号の入力レベルを調整する [DVI 入力調整]

DVI ロングケーブル使用時に DVI 信号入力のレベルを調整することができます。

- 調整範囲:オート、マニュアル(1~8)
- (1) (1) (1) を押して、モニターの電源を切ります。
- (2) (1)を押しながら、(0)を押してモニターの電源を入れます。 < DVI 入力調整>調整画面が表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「オート」または「マニュアル」を選択します。
 「マニュアル」を選択した場合は、 ④ または で画面が正常に表示されるようにレベルを調整します。
- (4) を押します。設定が完了します。

参考

 「オート」が選択されている場合 は、2台のコンピュータの両方が 省電力モードに入っている場合の みモニターの省電力機能が動作し ます。

注意点

 DVI ロングケーブル使用時に、ノ イズがあらわれた場合のみマニュ アルで調整をおこなってください。

第4章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- ・ 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- ・ 画面に関する症状(デジタル信号の場合)→ 項目 3 ~ 8 を参照してください。
- ・画面に関する症状(アナログ信号の場合)→項目3~12を参照してください。
- その他の症状 → 項目 13 ~ 17 を参照してください。

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない	・ 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源を切り、
・ 電源ランプが点灯しない	数分後にもう一度電源を入れてみてください。
	 主電源スイッチをオンにしてください。
	 ・ (0) を押してください。
 ・ 電源ランプが点灯:青色 	・[ブライトネス]、[コントラスト]、[ゲイン]の各調整
	値を上げてみてください(P15、P17 参照)。
	・ DVI ロングケーブルを使用している場合は、[DVI 入力調
	整]で調整してみてください(P26 参照)。
・ 電源ランプが点灯:橙色	 (S) で入力信号を切り替えてみてください。
	 マウス、キーボードを操作してみてください。
	 ・コンピュータの電源は入っていますか。
2. 以下のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正し
	く入力されないときに表示されます。
• 信号が入力されていない場合の表示です。	 コンピュータによっては電源オン時に信号がすぐに出力
入力信号チェック	されないため、左のような画面が表示されることがあり
	ます。
D-SUB	• コノヒューダの電源は入つていますか。
信号無し	
	 ・ ③ C八刀信号を切り皆えてみててたさい。 ・ DVI ロングケーブルを使用している場合は、[DVI 入力調]
	整1で調整してみてください(P26 参照)。
 ・ 入力されている信号が周波数仕様範囲外であること。 	を ・ コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直
示す表示です(範囲外の周波数は赤色で表示されます	「)。 周波数になっていますか。(P6参照)
例: 入力信号エラー	 コンピュータを再起動してみてください。
	 ・ グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な
D U I デジタル	表示モードに変更してください。詳しくはグラフィック
fD:162.8MHz	スボードの取扱説明書を参照してください。
fU: 60.4Hz	D:ドットクロック (デジタル/クロック
	(ナンダル信ち人)時のみ衣示されよ9) fu:水平用油物
	f/:垂直周波数
	- 「ブライトラフ] 「コントラフト」を調敕してください
	(ICDモニターのバックライトには、寿命があります。
	画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、
	エイゾーサポートにご相談ください)。
	• Auto EcoView をオンにしてみてください。周囲の明る
	さに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
4. 文字がぼやけて見える	 コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直
	周波数になっていますか。(P6 参照)
	・ [スムージング] で調整してみてください(P13 参照)。
5. 残像が現れる	 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバー
	を設定したり、オフタイマー機能を活用してください。
	• この現象は液晶バネルの特性であり、固定画面で長時間

症状	原因と対処方法
6. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しな いドットが残る	 これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
7. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消 えない	 ・ 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてくだ さい。症状が解消されることがあります。
8. 画面にノイズがあらわれる	 アナログ信号の場合、<ピクチャー調整>の<信号フィルタ>の設定を「オン」に切り替えてみてください。 HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。 DVI ロングケーブルを使用している場合は、[DVI 入力調整]で調整してみてください(P26 参照)。
9. 画像がずれている	 「ポジション」で画像の位置を合わせてください (P13 参照)。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位 置を変える機能があれば、その機能を使用して調整して ください。
10. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	・[クロック]で調整してみてください(P12 参照)。
11. 画面全体がちらつく、にじむように見える	・[フェーズ]で調整してみてください(P12 参照)。
12. 画面の上部が下図のように歪む	 コンポジットシンク(X-OR)の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
13. 調整メニューにおいて、<ピクチャー調整>の<ス ムージング>アイコンが選択できない	 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません(スムージングアイコンを選択することはできません)。 以下の場合は選択できません。 解像度が1920×1200の場合 1600×1200時、<拡大モード>で「拡大」を選択している場合 <拡大モード>で「ノーマル」を選択している場合
14. 調整メニューが表示できない	 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてく ださい(P22参照)。
15. FineContrast(ファインコントラスト)モード名が表 示できない	 ・調整メニューのメインメニューが起動していませんか。 (P7 参照)
16. 自動調整機能が動作しない 17. 音声が出ない	 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください(P22参照)。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。 ミニジャックケーブルは正しく差し込まれていますか。
	 ・ 音量が「0」になっていませんか。 ・ コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの 設定を確認してください。

第5章 ご参考に

5-1 アーム取付方法

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム(あるいは別のス タンド)に取り付けることが可能になります。アームまたはスタンドは 当社オプション品をご利用ください。

- 7 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
- **2** スタンド部分を取り外します。(別途ドライバーを準備ください。) ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ4 箇所を取り外します。
- **3** モニターをアーム(またはスタンド)に取り付けます。 アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



注意点

- 取り付けの際は、アームまたはス タンドの取扱説明書の指示に従っ てください。
- ・他社製のアームまたはスタンドを 使用する場合は、以下の点をアー ムまたはスタンドメーカーにご確 認の上、VESA 規格準拠のものを お選びください。
 - 取付部のネジ穴間隔: 100mm × 100mm
 - プレート部の厚み:2.6mm
 - 許容質量:モニター本体の質量 (スタンドなし)とケーブルなど の装着物の総質量に耐えられる こと
 - 取り付けには下記のネジをご使用 ください。
- EZ-UP スタンド仕様 フリーマウント仕様: 本機に付属しているネジ(M4 × 12mm)
- ハイトアジャスタブルスタンド 仕様:
 - FlexStan(フレックススタンド) 仕様:
 - 本体部分とスタンドを固定して いるネジ
- アームまたはスタンドを使用する 場合は、以下の範囲(チルト角) で使用してください。
- 上 45° 下 45°
- (横表示時、および時計回り 90° に縦表示時)
- ケーブル類は、アームを取り付け た後に接続してください。

5-2 EZ-UP スタンド収納方法

EZ-UP スタンド仕様のモニターを再梱包する場合は、以下の手順でスタンドを収納してください。

- **1** ケーブルホルダーをはずします。
- 2 スタンドベースにヒンジ部が接触するまで画面の位置を下げて、 ロック金具を取り付けます。

モニター画面部がスタンドベースに接触しないように、画面角度 を調整してください。



3 ロック解除ノブを上に押し上げた状態でモニター画面部を後方に 倒します。

モニター画面を後方最大にまでチルトさせている場合(25°)は、 ロック解除ノブが押し上げにくいことがあります。モニター画面 をやや垂直方向に戻すようにしてからロック解除ノブを押し上げ てください。



5-3 仕様

EV2411W

液晶パネル		61cm(24.1)型カラー TFT、アンチグレア 視野角:左右 170° 、上下 160° (CR ≧ 10)			
ドットピ	ッチ	0.270mm			
水平走查周波数		アナログ信号入力時:31 ~ 94kHz デジタル信号入力時:31 ~ 76kHz			
垂直走查月	周波数	アナログ信号入力時:55 ~ 76Hz(ノンインターレース) (1920 × 1200 時:55 ~ 61Hz) デジタル信号入力時:59 ~ 61Hz(ノンインターレース) (VGA TEXT 時:69 ~ 71Hz)			
解像度		1920 ドット× 1200 ライン			
ドットクロ	コック(最大)	アナログ信号入力時:202.5MHz デジタル信号入力時:162MHz			
最大表示的	五 二	約 1677 万色:8bit 対応(約 10 億 6433 万色中/ 10bit LUT)			
表示サイン	ズ(水平×垂直)	518.4mm × 324.0mm			
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.75A			
消費電力	画面表示時	45W 以下(スピーカー動作時) 43W 以下(スピーカー非動作時)			
省電力モード時 電源ボタンオフ時		0.8W 以下(1 系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時)			
		0.6W 以下(ステレオミニジャックケーブル非接続時)			
	主電源スイッチオフ時	0W			
信号入力:	コネクタ	DVI-D コネクタ(HDCP 対応)、D-Sub15 ピン(ミニ)			
アナログ信号 入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性 コンポジット、TTL、正 / 負極性			
アナログ	言号 入力映像信号	アナログ、正極性(0.7Vp-p/75 Ω)			
デジタルイ	言号伝送方式	TMDS(Single Link)			
ビデオ信号	号メモリー	アナログ信号 45種(プリセット 22種) デジタル信号 10種			
音声出力		スピーカー出力:0.5W + 0.5W(8 Ω、THD ≦ 3%) ヘッドホン出力:2mW + 2mW			
ライン入	לי ל	入力インピーダンス:48k Ω(typ.) 入力レベル:1.0Vrms(最大)			
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B/EDID structure 1.3			
寸法 本体(ハイトアジャスタブ ルスタンド) 本体(EZ-UP スタンド)		566mm(幅)× 456 ~ 538mm(高さ)× 208.5mm(奥行き)			
		566mm(幅)× 380.4 ~ 533.5mm(高さ)× 279.9 ~ 307.6mm(奥行き)			
	本体(スタンドなし)	566mm(幅)× 367mm(高さ)× 85mm(奥行き)			
質量	本体(ハイトアジャスタブ ルスタンド)	約 10.2kg			
	本体(EZ-UP スタンド)	約 12.0kg			
	本体(スタンドなし)	約 7.2kg			

可動範囲	ハイトアジャスタブル スタンド	チルト角度:上 40°下 0° スィーベル角度:右 35°左 35° 昇降:82mm ローテーション:90°(時計回り)
	EZ-UP スタンド	チルト角度:上 25°下 0° スィーベル角度:右 172°左 172° 昇降:153.1mm ローテーション:90°(時計回り)
環境条件	温度	動作温度範囲:5℃~ 35℃ 輸送および保存温度範囲:-20℃~ 60℃
	湿度	動作湿度範囲:30% ~ 80% R.H.(非結露状態) 輸送および保存湿度範囲:30% ~ 80% R.H.(非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲:700hPa ~ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲:200hPa ~ 1060hPa

S2402W

液晶パネル 61cm 視野倉 視野倉		51cm(24.1)型カラー TFT、アンチグレア 視野角:左右 170° 、上下 160° (CR ≧ 10)			
ドットピッチ		0.270mm			
水平走查周	周波数	アナログ信号入力時:31 ~ 94kHz デジタル信号入力時:31 ~ 76kHz			
垂直走查周波数		アナログ信号入力時:55 ~ 76Hz(ノンインターレース) (1920 × 1200 時:55 ~ 61Hz) デジタル信号入力時:59 ~ 61Hz(ノンインターレース) (VGA TEXT 時:69 ~ 71Hz)			
解像度		1920 ドット× 1200 ライン			
ドットクロ	コック(最大)	アナログ信号入力時:202.5MHz デジタル信号入力時:162MHz			
最大表示的	<u>д</u>	約 1677 万色:8bit 対応(約 10 億 6433 万色中/ 10bit LUT)			
表示サイズ	ズ(水平×垂直)	518.4mm × 324.0mm			
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.9A			
消費電力 画面表示時		58W 以下(スピーカー動作時) 54W 以下(スピーカー非動作時)			
	省電力モード時	0.7W 以下(1 系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時)			
電源ボタンオフ時 主電源スイッチオフ時		0.5W 以下(ステレオミニジャックケーブル非接続時)			
		ow			
信号入力:	コネクタ	DVI-D コネクタ(HDCP 対応)、D-Sub15 ピン(ミニ)			
アナログイ	言号 入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性 コンポジット、TTL、正 / 負極性			
アナログ付	言号 入力映像信号	アナログ、正極性(0.7Vp-p/75 Ω)			
デジタルイ	言号伝送方式	TMDS (Single Link)			
ビデオ信号メモリー		アナログ信号 45種(プリセット 22種) デジタル信号 10種			
音声出力		スピーカー出力:0.5W + 0.5W(8 Ω、THD ≦ 3%) ヘッドホン出力:2mW + 2mW			
ライン入力		入力インピーダンス:48k Ω(typ.) 入力レベル:1.0Vrms(最大)			
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B/EDID structure 1.3			

寸法	本体(ハイトアジャスタブ ルスタンド)	566mm(幅)× 456 ~ 538mm(高さ)× 208.5mm(奥行き)					
	本体(EZ-UP スタンド)	566mm(幅)× 380.4 ~ 533.5mm(高さ)× 279.9 ~ 307.6mm(奥行き)					
	本体(FlexStand)	566mm(幅)× 381.5 ~ 538.5mm(高さ)× 242 ~ 256mm(奥行き)					
	本体(スタンドなし)	566mm(幅)× 367mm(高さ)× 85mm(奥行き)					
質量	本体(ハイトアジャスタブ ルスタンド)	約 10.2kg					
	本体(EZ-UP スタンド)	約 12kg					
	本体(FlexStand)	約 10.2kg					
	本体(スタンドなし)	約 7.2kg					
可動範囲	ハイトアジャスタブル スタンド	チルト角度:上 40°下 0° スィーベル角度:右 35°左 35° 昇降:82mm ローテーション:90°(時計回り)					
	EZ-UP スタンド	チルト角度:上 25°下 0° スィーベル角度:右 172°左 172° 昇降:153.1mm ローテーション:90°(時計回り)					
	FlexStand (フレックススタンド)	チルト角度:上 30°下 0° スィーベル角度:右 172°左 172° 昇降:225mm (チルト角 0°時:157mm) ローテーション:90° (時計回り)					
環境条件	温度	動作温度範囲:5℃~ 35℃ 輸送および保存温度範囲:-20℃~ 60℃					
	湿度	動作湿度範囲:30% ~ 80% R.H.(非結露状態) 輸送および保存湿度範囲:30% ~ 80% R.H.(非結露状態) 動作気圧範囲:700hPa ~ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲:200hPa ~ 1060hPa					
	気圧						

主な初期設定(工場出荷設定)値

Auto EcoView		オフ (EV2411W)		
		パン (S2402W)		
スムージング		3		
FineContrast (ファインコントラスト) モード		Custom		
パワーセーブ		オン		
入力信号		オート		
拡大モード		フルスクリーン		
オフタイマー		無効		
メニュー設定	メニューサイズ	ノーマル		
	メニューオフタイマー	45 秒		
言語選択		日本語		







外観寸法(EZ-UP スタンド)



単位:mm (インチ)



単位:mm (インチ)



入力信号接続

・DVI-D コネクタ

|--|

ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	T.M.D.S. Data 2-	9	T.M.D.S. Data1-	17	T.M.D.S. Data0-
2	T.M.D.S. Data 2+	10	T.M.D.S. Data1+	18	T.M.D.S. Data0+
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
4	NC*	12	NC*	20	NC*
5	NC*	13	NC*	21	NC*
6	DDC Clock (SCL)	14	+5V Power	22	T.M.D.S. Clock shield
7	DDC Data (SDA)	15	Ground (return for +5V, Hsync, and Vsync)	23	T.M.D.S. Clock+
8	NC*	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S. Clock-

(NC*: No Connection)

• D-Sub15 (ミニ) コネクタ

	ഒരുതരവ	
0	00000	0
	60000	

ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号
1	Red video	6	Red video ground	11	NC*
2	Green video	7	Green video ground	12	Data (SDA)
3	Blue video	8	Blue video ground	13	H.Sync
4	NC*	9	NC*	14	V.Sync
5	Ground	10	Ground	15	Clock (SCL)

(NC*: No Connection)

別売オプション品

クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」
スピーカーユニット	i•Sound L3 *

*スタンドの形状によっては取り付けられません。

オプション品に関する最新情報は、当社のホームページをご覧ください。 http://www.eizo.co.jp

5-4 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K:ケルビン(Kelvin)で表します。炎の温度と同様に、 画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。 5000K:やや赤みがかった白色

6500K: 暖色で紙色に近い白色

9300K:やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機 種の場合は横 1920 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため 1920 × 1200 の解 像度であれば、画像は画面いっぱい(1 対 1)に表示されます。

ガンマ

ー般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と 呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなり ます。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、 使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要がありま す。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に 縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通 して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み 合わせによって構成されます。3色のフィルターに通す光の強さ(量)をそれぞれ調整することによって、 色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを 調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことを おすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前に はレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DDC/CI (Display Data Channel / Command Interface)

VESA によって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための 国際規格です。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに 伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタ と、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON(オペレーションモード)と Active Off(省電力モード)が必須となっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Contents Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間(モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど)の「色再現性、色空間」を統一する目 的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネット の送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS (Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ(グラフィックスボード)側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

5-5 プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです(ア ナログ信号のみ)。

	LY an L		周波数	
表示モード			水平:kHz	極性
			垂直:Hz	
	25.2 MU-7	水平	31.47	負
VGA 040 × 480@00112	23.2 1011 12	垂直	59.94	負
VGA TEXT 720 × 400@70Hz	283 MH7	水平	31.47	負
	20.5 10112	垂直	70.09	正 正
VESA 640 \times 480@72Hz	31.5 MHz	水平	37.86	負
		<u> 垂直</u>	/2.81	負
VESA 640 × 480@75Hz	31.5 MHz	水平	37.50	旦
		世世	75.00	して
VESA 800 $ imes$ 600@56Hz	36.0 MHz	<u>水平</u> 五古	56.10 56.25	표
		 	37.88	표
VESA 800 × 600@60Hz	40.0 MHz	<u>小</u> — — — — — — — — — —	60.32	표
		<u></u> 水平	48.08	<u> </u>
VESA 800 × 600@72Hz	50.0 MHz	垂直	72 19	
		<u>王</u> 匹 水平	46.88	 正
VESA 800 × 600@75Hz	49.5 MHz	垂直	75.00	 正
		<u></u> 水平	48.36	自
VESA 1024 \times 768@60Hz	65.0 MHz	垂直	60.00	負
	75.0 MHz	水平	56.48	負
VESA 1024 × 768@70Hz		垂直	70.07	負
	78.8 MHz	水平	60.02	Ē
VESA 1024 × 768@75HZ		垂直	75.03	Ē
VESA 1152 × 864@75Hz	108 0 MH-	水平	67.50	正
VESA 1152 × 804@75112	100.0 10112	垂直	75.00	正
VESA 1280 × 960@60Hz	108 0 MHz	水平	60.00	Ē
	100.0 10112	垂直	60.00	Ē
VESA 1280 \times 1024@60Hz	108.0 MHz	水平	63.98	<u> </u>
		垂直	60.02	止
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0 MHz	水平	79.98	止
		一里旦	75.03	
VESA 1600 × 1200@60Hz	162.0 MHz	小平 五古	/5.00	표
			00.00	표
VESA 1600 × 1200@65Hz	175.0 MHz	<u>小十</u>	65.00	ᇤ
	1	<u> </u>	87.50	<u></u> 正
VESA 1600 × 1200@70Hz	189.0 MHz	<u></u>	70.00	 正
			93 75	
VESA 1600 × 1200@75Hz	202.5 MHz	垂直	75.00	
	146.3MHz		65.29	自
$VESA CVI 1680 \times 1050@60Hz$		垂直	59.95	Ē
VESA CVT	102 2141		74.56	負
1920 × 1200 @60Hz	193.3MHz	垂直	59.89	Ē
VESA CVT RB	154 0141-	水平	74.04	Ē
1920 × 1200 @60Hz	I 54.UIVIHZ	垂直	59.95	負

注意点

- ・接続されるコンピュータの種類に より表示位置等がずれ、調整メ ニューで画面の調整が必要になる 場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の 信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなって ください。ただし、調整をおこなって ても画面を正しく表示できない場 合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

第6章 アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポートの拠点一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、 大切に保管してください。
- ・当社では、この製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- ・保証期間中の場合
 保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、また
 はエイゾーサポートにで連絡ください。
- ・保証期間を過ぎている場合 お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲(サービス内容)、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- ・お買い上げ年月日・販売店名
- ・モデル名・製造番号(製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例)S/N 12345678)
- ・使用環境(コンピュータ / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度等)
- ・ 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

修理について

修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

- ・パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収・リサイクル体制を構築しており、お客様が本製品をご使用後に廃棄する際は下記の要領でお引取りしています。
- ・なお、詳しい情報については、当社のホームページもあわせてご覧ください。 (http://www.eizo.co.jp)

法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。 詳細については下記までお問合せください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
076-274-7369(専用)	076-274-2416
月曜日~金曜日	24 時間受付
(祝日及び当社休日を除く)	但し、回答は営業時間帯
9:30~17:30	(電話受付時間帯と同じ)

個人のお客様

PC リサイクルマークの無償提供について

本製品は、PC リサイクル対象製品です。当社では、本製品をご購入いただいた個人のお客様に PC リサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、下記の Web サイトから お申し込みください。

マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

情報機器リサイクルセンター ホームページ:http://www.pc-eco.jp ※「PC リサイクルマーク申込」からお入りください。 (回収担当窓口は、情報機器リサイクルセンターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されているモデル名と製造番号が必要となります。

PC リサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークがついた当社製品の回収を情報機器リ サイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担 いただくことなく回収・再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、情報機器リサイクルセンターまでお願いいたします。

情報機器リサイクルセンター 電話:03-3455-6107 月曜日〜金曜日(祝日及び年末年始を除く)9:00~17:00

EV2411W のみ適合。 英文が TCO による文書です。和訳は参考としてご利用ください。

••••••

Congratulations!

ICODevelopment The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the Impact on our natural environment. Some of the features of the TCO'03 Display requirements: ww.tcodevelopment.con Ergonomics Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability. Energy · Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and environment Electrical safety Emissions Electromagnetic fields Noise emissions Fcology The products must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000 Restrictions on chlorinated and brominated flame retardants and polymers · heavy metals such as cadmium, mercury and lead. The requirements includes in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labeling system with displays in 1992 and is now requested by users and IT-

For more information, please visit **www.tcodevelopment.com**

このたびお求めのモニターには、TCO'03 ラベルが貼り付けられています。これはこのモニターが世界でも最も厳しい、いくつかの 品質・環境要求に従って開発され、製造されたものであることを示しています。TCO'03 ラベルは、ユーザー主体の高性能な製品の 開発や、自然環境への影響を最小限に抑制するために役立っています。

TCO'03 モニターにはいくつかの要求事項があります。

エルゴノミクス

manufacturers all over the world.

ユーザーの作業環境を改善し、視覚や疲労の問題を軽減するために、優れたビジュアルエルゴノミクスと画像品質が求められ ます。輝度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、画像の安定性といった項目が重要な要素となります。

エネルギー 一定時間経過後に節電モードに移行することが求められます。これはユーザーおよび環境の双方に有益な要求です。 電気的安全性についても求められています。

エミッション 電磁界やノイズの発生に対する要求事項があります。

エコロジー

TCO'03 製品は、リサイクルシステムを整備しなければなりません。また製造者は EMAS や ISO 14000 といった環境マネジメ ントシステムの認証を受けなければなりません。 塩素系または臭素系難燃剤および高分子化合物の、製品への使用が規制されています。 またカドミウム、水銀、鉛などの重金属についても使用が規制されています。

TCO'03 の要求事項は、製造者に加えて世界中の科学者、専門家、ユーザーの協力のもとに TCO Development によって監修されて います。1980 年後半より、TCO はユーザーフレンドリーな IT 機器の開発に影響を及ぼすべく関与してきました。モニター分野に おける TCO ラベリングシステムは 1992 年より始まりました。現在では世界中のユーザーや IT 企業に求められているシステムです。

i.....

さらに詳しい情報は www.tcodevelopment.com を参照してください。

<u>关于电子信息产品污染控制标识</u>



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」,适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项,在自制造日起算的年限内,不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

•有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素						
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚	
	(Pb)	(Hg)	(Cd)	(Cr (VI))	(PBB)	(PBDE)	
印刷电路板	×	0	0	0	0	0	
机箱	0	0	0	0	0	0	
液晶显示器	×	0	0	0	0	0	
其他	×	0	0	0	0	0	
〇:表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。							
×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。 (企业可在此处,根据实际情況对上表中打"×"的技术原因进行进一步说明)							

<u>关于电子信息产品污染控制标识</u>



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」,适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项,在自制造日起算的年限内,不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

•有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素						
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚	
	(Pb)	(Hg)	(Cd)	(Cr (VI))	(PBB)	(PBDE)	
印刷电路板	×	0	0	0	0	0	
机箱	0	0	0	0	0	0	
液晶显示器	×	×	0	0	0	0	
其他	×	0	0	0	0	0	
〇:表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。							
×:表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。							
(企业可在此处,根据实际情況对上表中打"×"的技术原因进行进一步说明)							



株式会社ナナオ 〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

http://www.eizo.co.jp